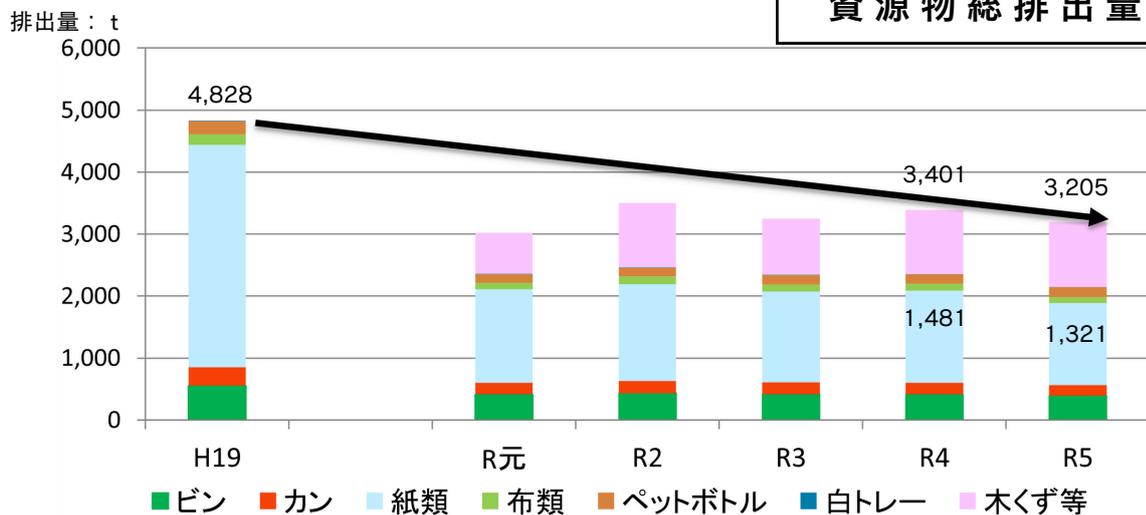
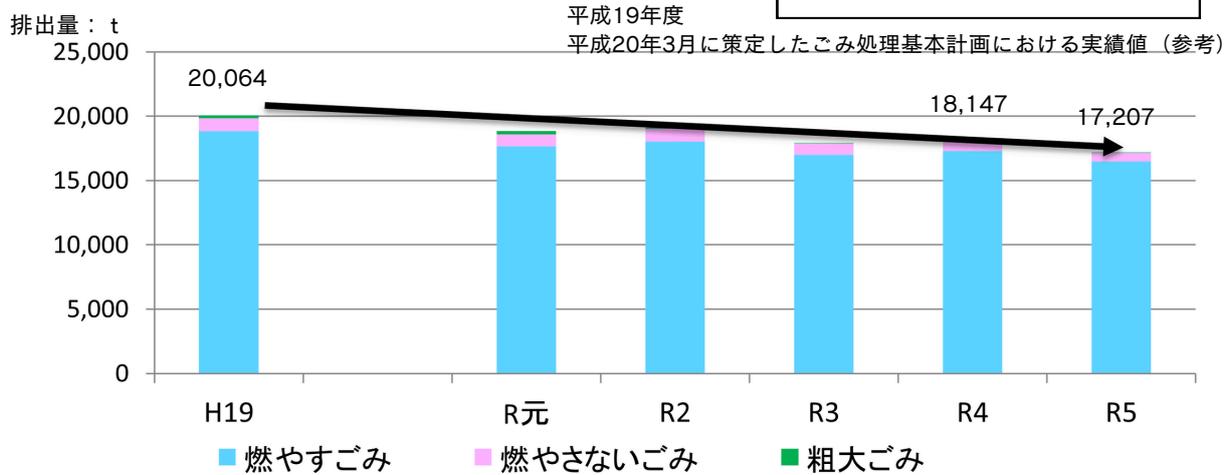


令和6年度

ごみ減らし隊通信

龍ヶ崎市のごみとリサイクルの現状

ごみ・資源物排出量の推移



令和5年度の家系ごみ排出量は17,207 tで、前年度に比べて940 t減少しています。これは市民一人一日当たりで33 gを減量した計算となります。

また、ごみ排出量の減少に伴い資源物排出量も減少しており、前年度に比べ196 t減少（特に紙類が、前年度に比べ160 t減少。）しております。減少している要因としては、商品の簡易包装やペーパーレス化が定着してきたことなどが考えられます。

龍ヶ崎市生活環境課
廃棄物対策グループ

TEL : 0297-64-1111 内線427
メールアドレス : kankyo@city.ryugasaki.lg.jp

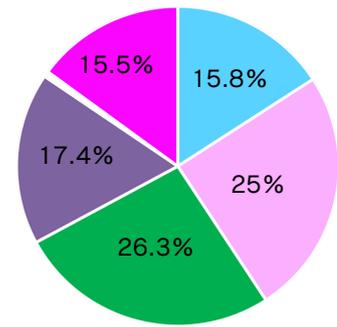


ごみ減量のキーワードは、生ごみと雑がみ

本市のごみを減らし資源を有効利用するためには、市民の皆様のご理解ご協力が必要です。本市によるごみ質分析調査の結果では、ごみの中には資源物となるものが多く含まれている状況が確認されます。ごみの減量や資源の有効活用には、ごみの分別精度を向上させることが最も有効な取組みとなります。

●生ごみに含まれる水切りを行うことで、10%程度の減量効果があるとされ、各家庭から排出される生ごみの量から換算すると、生ごみの水切りの実施により一世帯当たり年間7.2kg程度の減量効果が見込まれます。本市全体としては年間258tの減量効果が得られる試算となります。

●ごみ質分析調査によると、燃やすごみの中には、資源として利用できる紙類が多く含まれています。一世帯当たり年間16kgの紙類が焼却処理されている試算となります。これは年間585tの資源物を燃やすごみとして処理していることを意味し、各家庭で更なる分別徹底への心がけをいただくことでごみの減量に大きく繋がるものであります。一世帯一日当たり43g（A4コピー用紙10枚程度）の紙類を燃やすごみの中から分別を行うことで達成することができます。



●厨芥類 ●プラスチック類 ●紙布類
●草木類 ●金属類 ●ガラス類
●陶器・土砂類 ●その他

令和5年度ごみ質分析調査より

雑がみリサイクル推進のため、紙袋のリユース開始



雑がみリサイクルの促進をするため、令和6年11月から試験的に家庭で使われていない紙袋の回収を実施し、3カ月間で2,000枚程度の紙袋を提供いただきました。令和7年1月からは回収した紙袋の配布を行っています。

●実施場所：サンデーリサイクル会場

●実施方法：紙袋の回収ボックスと配布ボックスを設置

紙袋は、雑がみ回収袋として必要な方に利用され、資源物のリサイクル促進に繋がります。是非ご利用ください。

※雑がみとは

雑がみとは、「新聞」「段ボール」「紙パック」以外のリサイクルできる紙類です。雑がみとして収集できる主なものは、チラシ、雑誌、紙箱、封筒・はがき、包装紙、紙袋、台紙・画用紙、紙の芯、カレンダー、メモ用紙・コピー紙などです。

紙の分別判断に困った場合は、公益財団法人古紙再生促進センターの「古紙分別別チェッカー」をご利用ください。



環境に関する啓発活動を行いました！

環境月間パネル展示



6月5日は「環境の日」。「環境の日」は、国連では「世界環境デー」と定められています。国では6月を「環境月間」とし、環境保全について考え、意識を高める期間としています。

場 所 市役所本庁舎1階ホール

期 間 令和6年6月3日～6月21日

内 容 ・ごみ減量、リサイクルに関するパネル
・地球温暖化に関するパネル
・牛久沼の環境保全に関するパネル等

食品ロス削減月間

10月の食品ロス削減月間に合わせ、市内飲食事業者へ「食品ロス削減ポスター」掲示・「3010運動三角柱POP」の設置の協力依頼をしました。また、消費者庁の呼びかけにより「SNS媒体を活用した食品ロス削減啓発プロジェクト」として、SNS発信しました。



龍ヶ崎産業祭「いがっぺ市」参加



令和6年11月23日に市役所駐車場にて開催されました龍ヶ崎産業祭「いがっぺ市」に来場された方々へ、食品ロス削減や雑がみリサイクルに関するチラシ、水切り用の袋を配布しました。

ごみ・資源物のよくある質問

【ペットボトルは潰しても出せます】

令和6年度から、ペットボトルは潰して出せるようになりました。

キャップを外して中身を空にして、軽くすすいで、資源物回収ステーションやサンデーリサイクルに出してください。



ペットボトルキャップは、各コミュニティーセンターか、サンデーリサイクルで回収しています。
地域で実施している資源物回収ステーションでは回収していません。

【納豆の容器は資源物ではありません】

納豆の容器は資源物（白トレイ）としては回収していません。リサイクルに必要なレベルまで洗浄することが難しいため、「燃やすごみ」として出してください。

また、白トレイはカビが生えるとリサイクルできないため、雨の日には出せません。



【果実酒漬け込用のビンは資源物ではありません】

果実酒漬け込用ビン、カップ酒のビン、ガラス製食器等は、材質が異なるためリサイクル出来ません。

「燃やさないごみ」として出してください。

プラスチックのキャップは、「燃やすごみ」です。

【スプレー缶は使い切って穴を開けてください】



使い切っていないスプレー缶（ガスボンベ）は、収集時等に引火・爆発の恐れがあるため、風通しのよい屋外で、逆さにして傾けながら押し付けて資源物として出してください。なお、缶の中に薬剤等が付着してしまう殺虫剤やヘアスプレーは、資源物回収ステーションには出せません。「燃やさないごみ」として出してください。どちらも穴を開けてください。

ホームセンター等で、スプレー缶のガス抜き器も販売されています。



【ライターはガス抜きしてください】



ガスの抜き方の例

- ①周囲に火の気のないことを確認する。
- ②操作レバーを押し下げる。
- ③輪ゴムや粘着力の強いテープで、押し下げたままのレバーを固定する。
- ④「シュー」という音が聞こえれば、ガスが噴出している。
- ⑤この状態のまま付近の火の気のない、風通しのよい屋外に半日から1日置く。
- ⑥念のため着火操作をして、火が付かなければ、完了。

※有害ごみ（ライター、蛍光灯、乾電池）は他の燃やさないごみと混ぜないで、中身が見える袋に種類ごとに入れてください。

【小型充電式電池は集積所に出さないでください】

リチウムイオンバッテリーは、破損や発火の恐れがあるため、ごみ集積所には出せないものとなります。市内でもごみ袋に混入されたリチウムイオン電池が発火する事案を確認しております。

市では（一社）JBRC小型充電式電池回収拠点登録をし、リサイクルを実施しています。回収ボックスは市役所本庁舎、西部・東部出張所に設置しています。膨張したものは、回収出来ませんので、製造メーカーや販売店にお問い合わせください。



協定を締結して便利になりました！

不用品をごみとして出す前に

ごみ減量を推進するため、「おいくら」を運営する(株)マーケットエンタープライズと協定を締結しました。

不用品の一括査定サイト「おいくら」を使うと、処分を予定していた不用品が手間や費用をかけることなく処分できる可能性があります。



おいくら?

宅内からの廃家電の搬出に対応（粗大ごみは対象外）



【インターネット受付】リネットジャパンリサイクル

【電話受付】SGアーク事務局

電話番号：0570-056-006

受付時間：10時から17時まで



市で実施している廃家電の収集では、宅内からの搬出と収集運搬券及び家電リサイクル券の準備等をご自身で行う必要がありますが、市が協定を締結したリネットジャパンリサイクル(株)及びSGムービング(株)では、搬出等の作業が不要となります。予約受付及び回収は、リネットジャパンリサイクル(株)・SGムービング(株)が行います。必要な費用はインターネット申込の手続き画面か、お電話でご確認ください。

次回の市内一斉清掃は3月2日(日)！

市内一斉清掃「わがまちクリーン大作戦」



不法投棄防止を図ることを目的に、年に2回、11月と3月に市内一斉清掃「わがまちクリーン大作戦」を実施しています。

次回の3月2日(日)の基準日には、朝7時に防災無線により放送する予定です。

大学生と企業が協力して市民交流と清掃活動を行っている地域もあります。

引き続き、住みよいまちづくりのため「わがまちクリーン大作戦」へのご参加・ご協力をお願いします。